

施工業者様用〈施工説明書〉

レギュラープレカット階段(受台階段/ひな段階段)

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

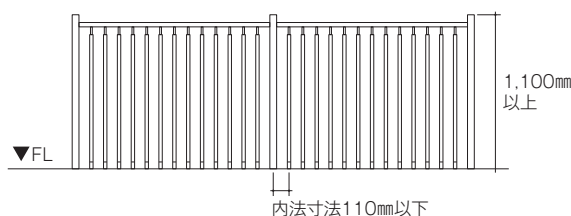
施工に際して以下の警告・注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



警告!

- 躯体の強度を確保してください。
階段が取り付け位置には、十分な強度のある柱・間柱・胴縁や梁・大引などの下地があることを確認してください。
- 子柱は、子供がすり抜けないように踏板で使用する場合は2本、2階ホール等に使用する場合は内法110mm以下で取り付けてください。
- 2階ホールの手すりの高さは1,100mm以上としてください。

■2階ホールなど



■階段部分



- 指定の固定方法で取り付けてください。
- 指定の下穴をあけてご使用ください。
- 取り付け後にガタツキ、緩み、ビスの締め忘れがないか確認してください。
- 万が一ガタツキ、ヒビなどの不具合を発見した場合は、直ちに使用をやめて取付業者または販売店にご連絡ください。



注意!

- 屋外や、浴室などの湿度が高い場所にはご使用できません。
- 開梱後は換気を行ってください。本製品は、ホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品ですが、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすいため、換気を行うようにしてください。
- 階段の勾配が45°を超える場合は、手すりを両側に取り付けてください。
- 手すりは踏面から750~800mmの高さに取り付けください。
- 手すりは連続して取り付けください。

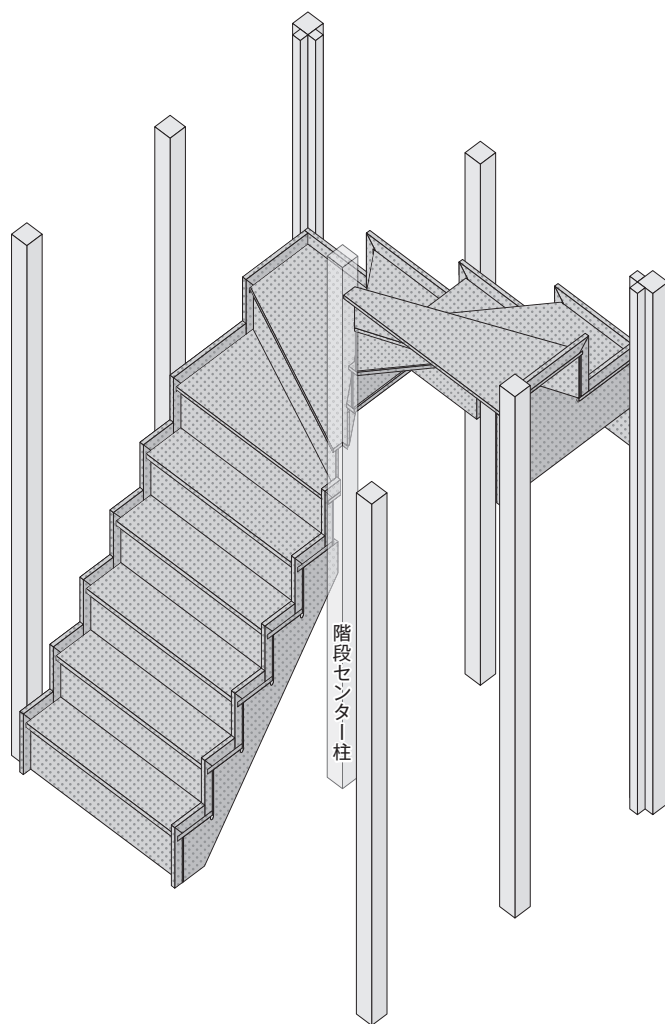
お願い 安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

- ・下穴はネジ径の80~85%を目安としてください。
- ・ポリウレタン系接着剤(別売)を少量充填しておくことも緩み止めに効果があります。
- ・手すりの接続、手すりと親柱・子柱との接続、手すり・親柱・子柱の躯体との接続は、ポリウレタン系接着剤(別売)を使用して強固に取り付けてください。



I. 受台階段プレカット

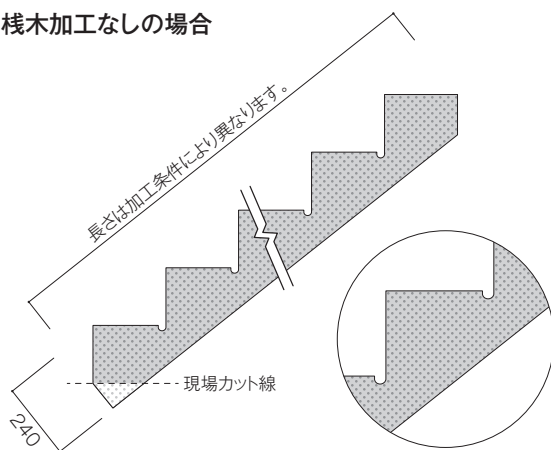
完成イメージ（6段廻り・L型プレカット巾木を使用する場合）



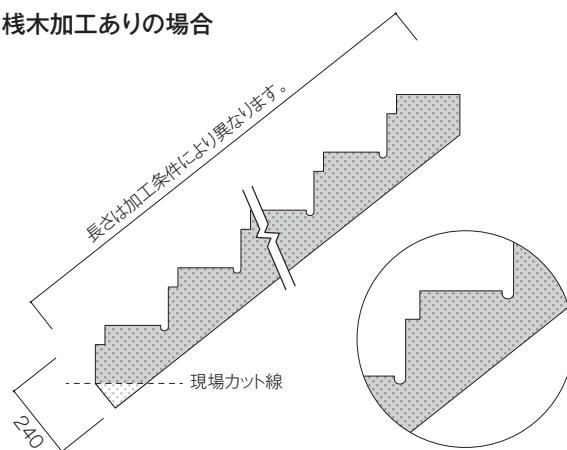
部材図

●直受台(外側及び廻り上部) 厚さ23mm

栈木加工なしの場合



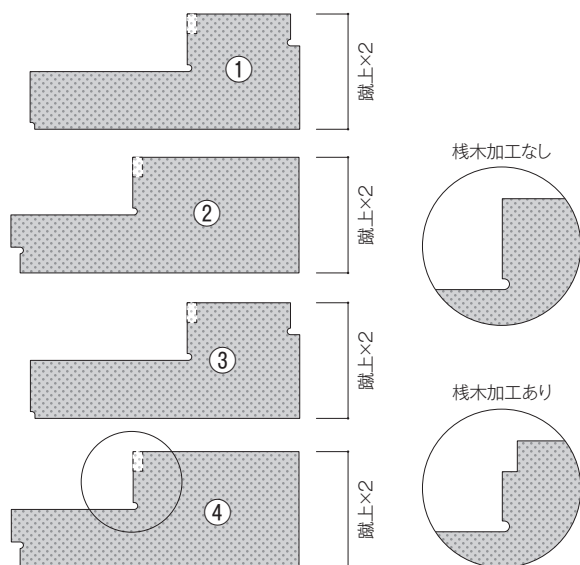
栈木加工ありの場合



※プレカットの内容によりサイズが異なる場合がございます。

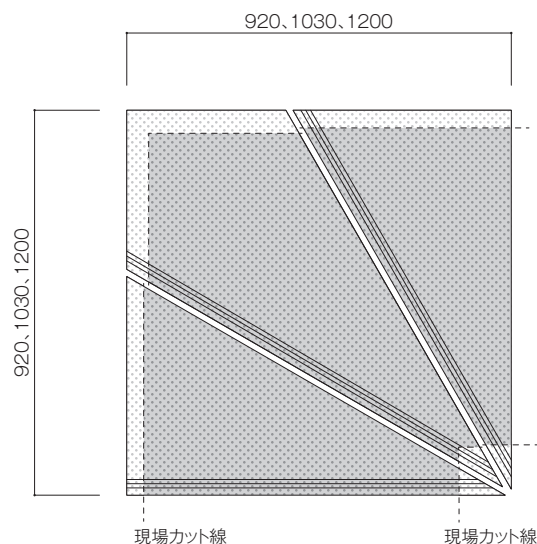
●廻り受台(6段廻り) 厚さ23mm

※廻り受台を使用する場合

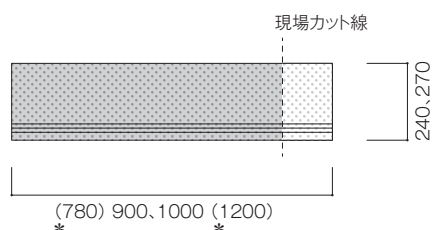


※[点線]部分は「栈木加工あり」の場合にプレカット加工されています。
 ※廻り受台を使用しない場合は、6ページの様に栈木等で踏板を固定してください。

●廻り踏板(3段廻り) 2面化粧 厚さ36mm

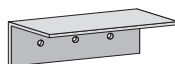


●踏板 2面化粧 厚さ36mm



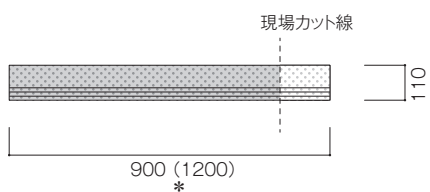
※踏面カットは標準加工です。
 (長さカットはオプション加工となります)

踏板固定金具(オプション)

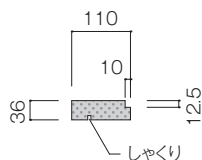


※プレカットの内容によりサイズが異なる場合がございます。

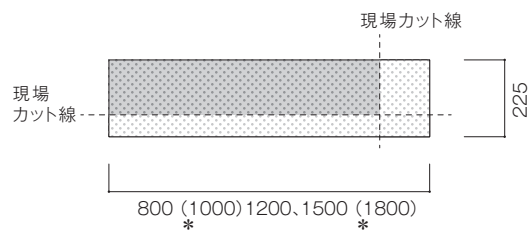
●上段框 2面化粧 厚さ36mm



オプション加工 上段框しゃくり加工



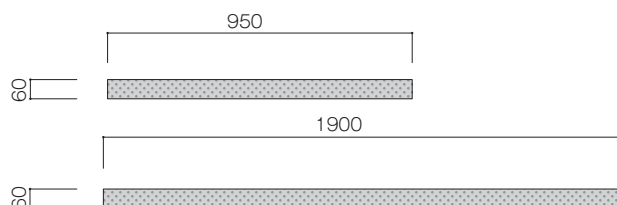
●蹴込板 1面化粧 厚さ5.5mm、12mm



●直踏板用巾木 厚さ9mm



●廻り踏板用巾木 厚さ9mm



※トメ加工等の加工は現場に合わせて行ってください。
 ※廻り部分にも使用できるプレカット巾木もございます。

*()内の表示サイズは、シリーズにより該当しない場合がございます。

手 順

1

廻り受台と直受台の取付位置の墨出し

- ・納品された商品を開梱し、材料の樹種・色・加工内容などに相違がないかを確認してください。
- ・踏面、蹴上げ寸法の確認後、踏板や蹴込板の厚みを考慮して墨出しを行ってください。

手 順

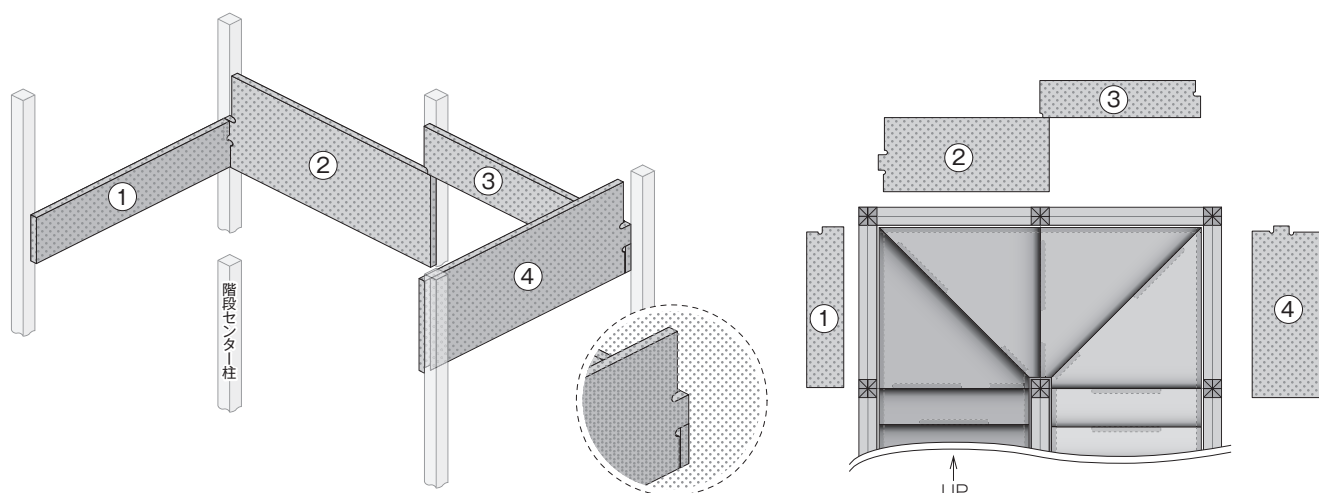
2

廻り受台の取付

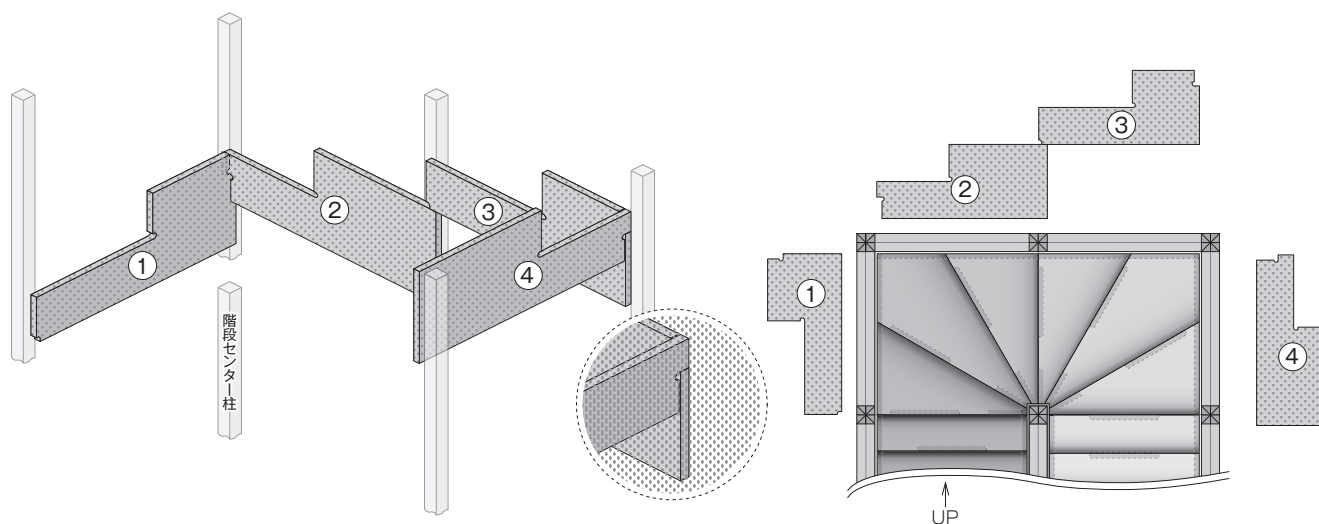
廻り受台を使用する場合

- ・墨出し位置に従い、受台を躯体(柱・間柱)へ固定します。
- ※以下の図は栈木加工なしの場合の図です。
- ※納まりは蹴込芯納めとなります。

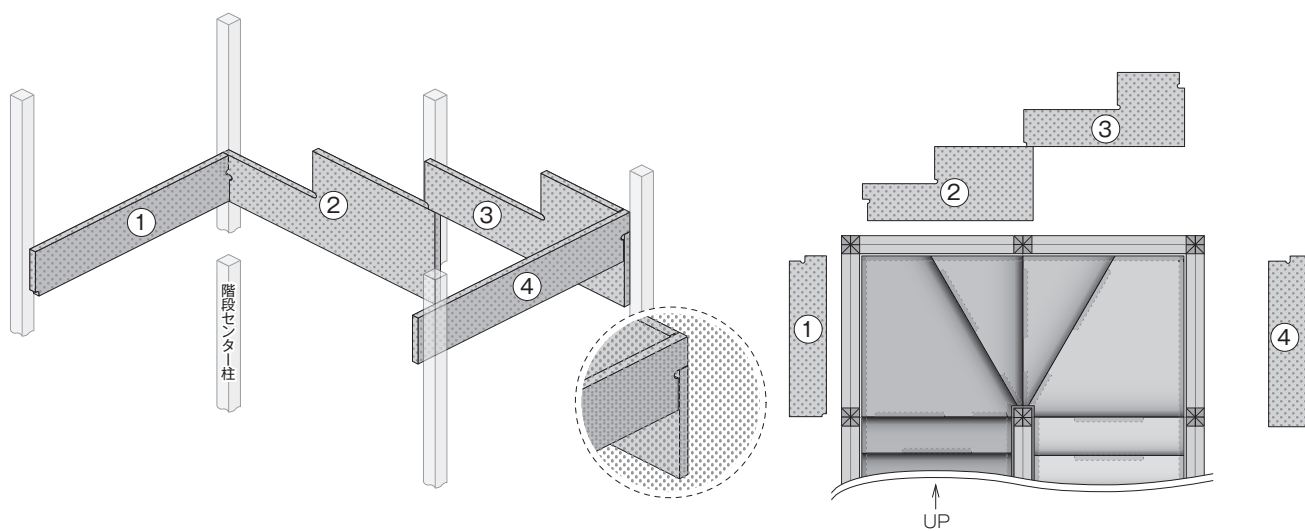
2段廻り



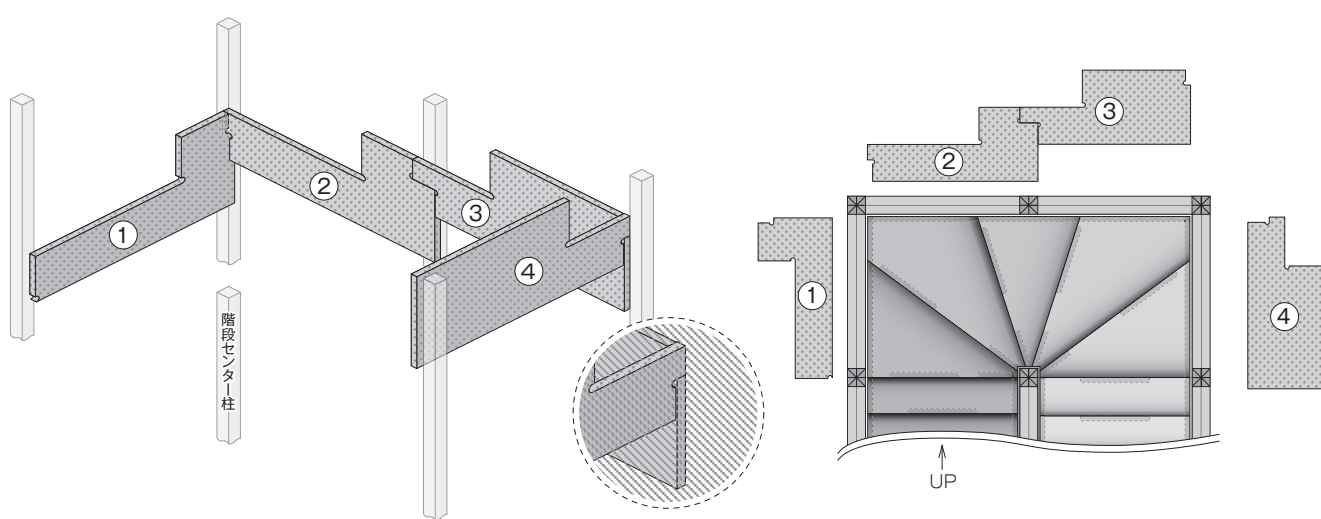
3段廻り



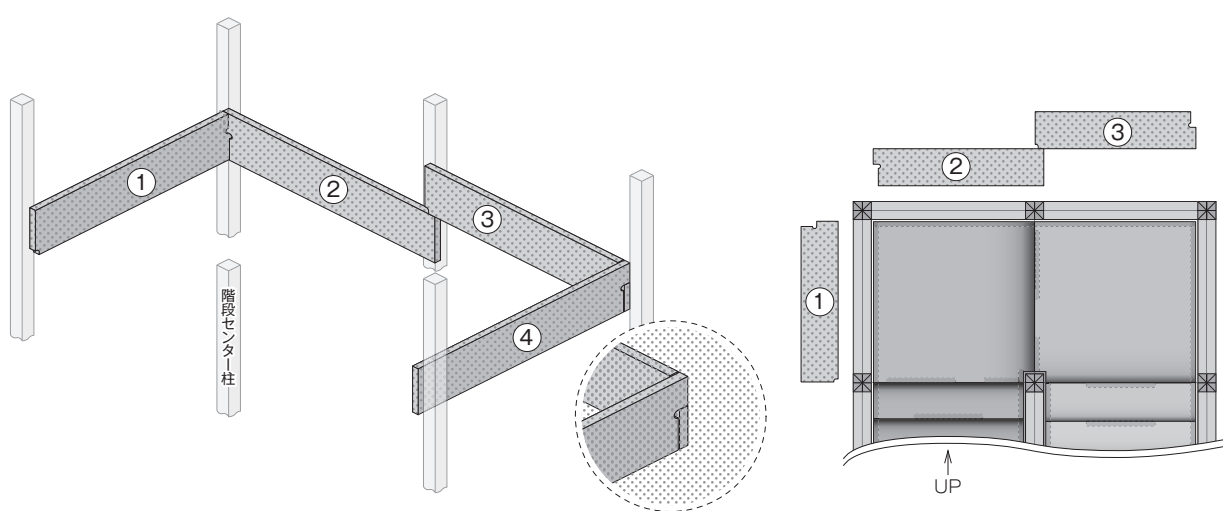
バリアフリー2段廻り



5段廻り

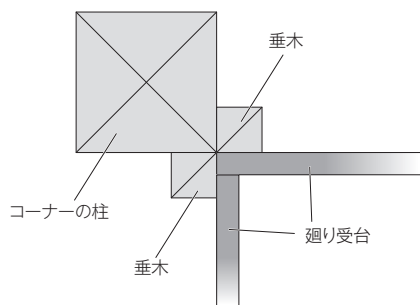


踊り場

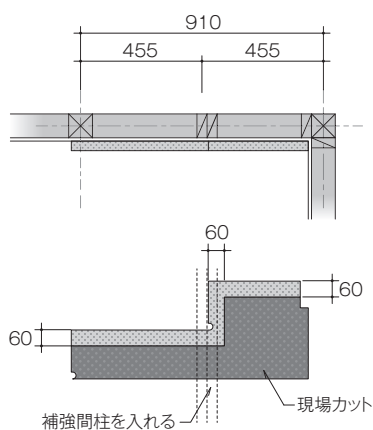


コーナー部分の廻り受台の取付について

コーナーの柱に廻り受台を取り付ける際は
36mm角以上の垂木を現場調達してください。



廻り受台を使用し、階段下に窓などの開口部がくる場合



階段下に窓や開口部がくるために受台を欠き込まなければならない場合は、最低でも60mm以上は受台の厚みを残すようにしてください。

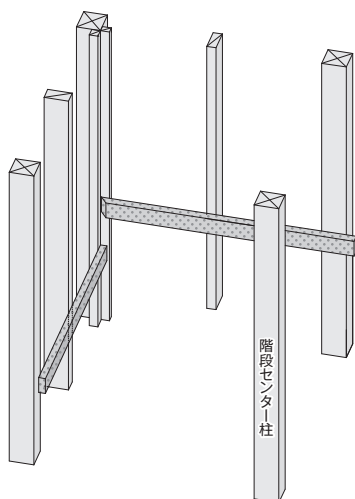
⚠ 注意

上記の寸法が確保されていない場合、階段の強度に影響を及ぼす場合があります。

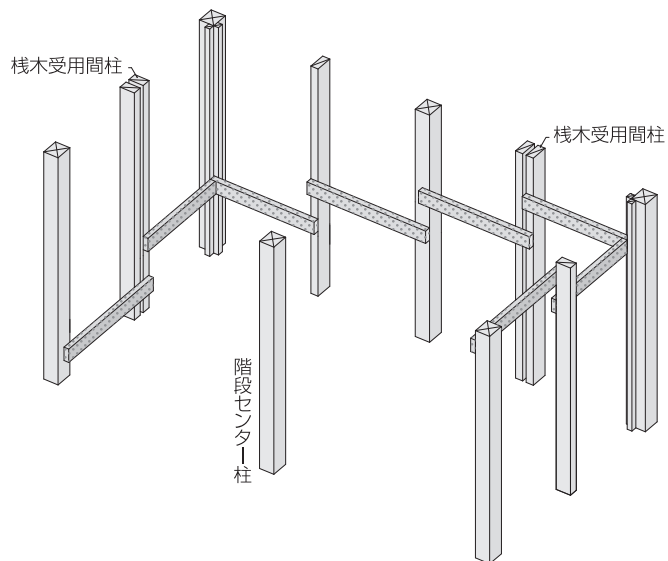
廻り受台を使用しない場合

廻り受台を使用しない場合は、栈木(現場調達)にて施工してください。

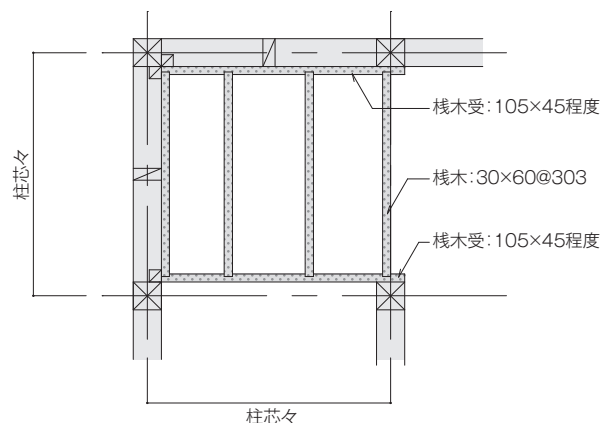
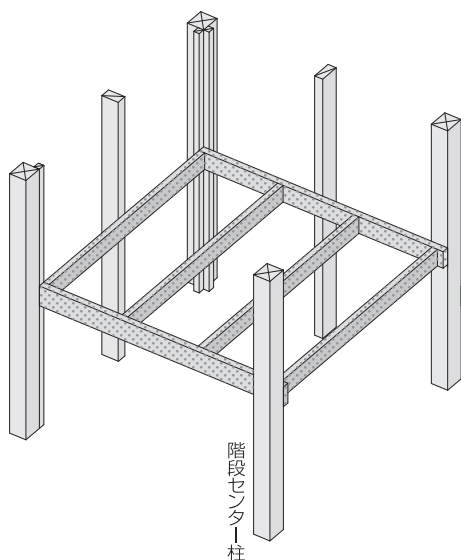
2段廻り踏板受け用栈木施工参考図



6段廻り踏板受け用栈木施工参考図



踊り場踏板受け用栈木施工参考図

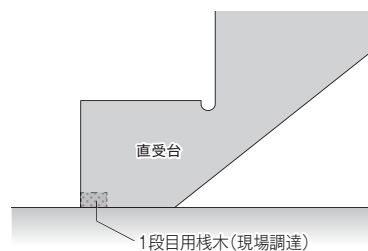


手 順

3

直受台の取付

- ・直受台を躯体へ固定します。
- ・1段目に蹴込板受け桟木(現場調達)を取り付けてください。

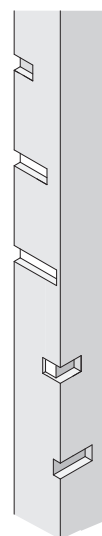


手 順

4

センター柱の欠き込み

- ・センター柱に廻り階段を差し込むための欠き込みを行ってください。
- ・廻り階段を廻り側板の加工寸法に合わせてカットしてください。
- ・廻り階段内側もセンター柱に差し込み口を作ってカットしてください。



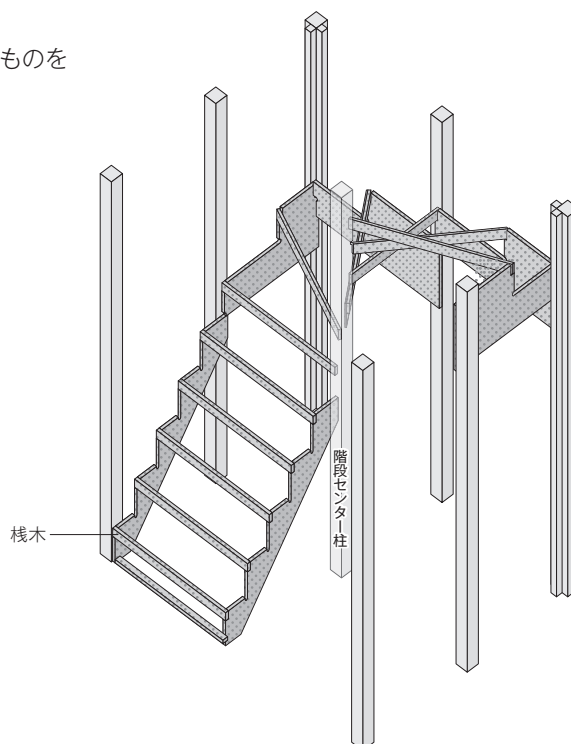
6段廻りの場合における
センター柱欠き込みイメージ

手 順

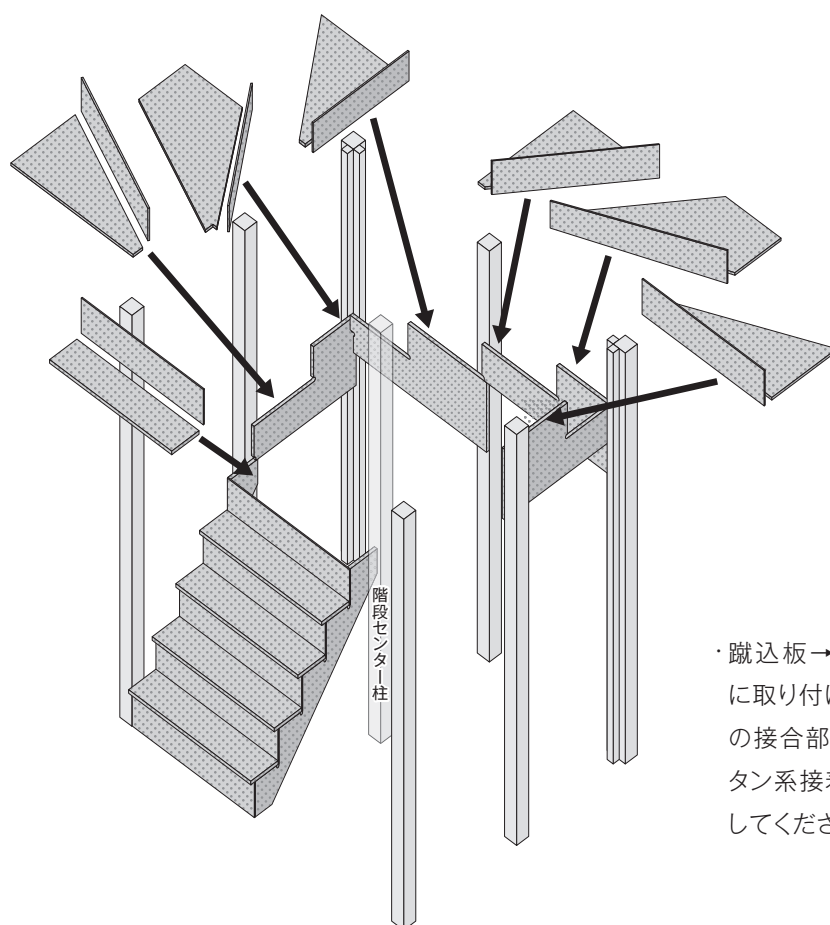
5

桟木の取付(桟木加工ありの場合のみ)

- ・桟木は、LVL桟木 60mm×30mm のものをご用意しておりますが、他の桟木サイズ(現場調達)でも欠き込み加工可能です。(サイズ指定必要)

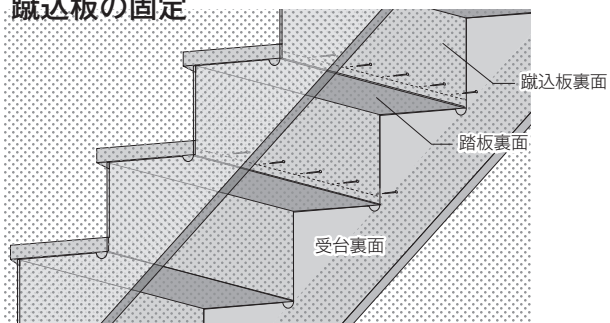


廻り踏板・直踏板・蹴込板の取付



・蹴込板→踏板的順で受け台に取り付けます。踏板・蹴込板の接合部には必ずビスとウレタン系接着剤を併用して固定してください。

蹴込板の固定



・必ず階段の裏面よりビス等とウレタン系接着剤（推奨品：ポリウレタン系接着剤（別売））を併用し蹴込板を固定してください。（ビスのピッチは100mm以下としてください。）

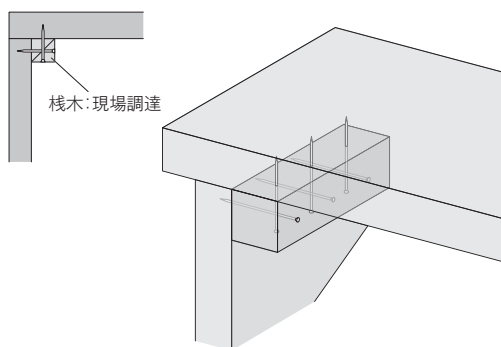
Point!

音鳴り等の防止の為、蹴込板の裏面をタル木・ベニア（9.5mm厚以上）等にて補強してください。

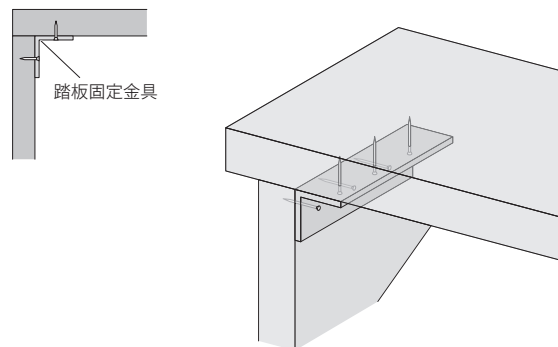
踏板的固定

・階段の裏側から踏板固定用栈木（現場調達）、もしくは踏板固定金具（オプション）をビスとウレタン系接着剤を併用して固定してください。

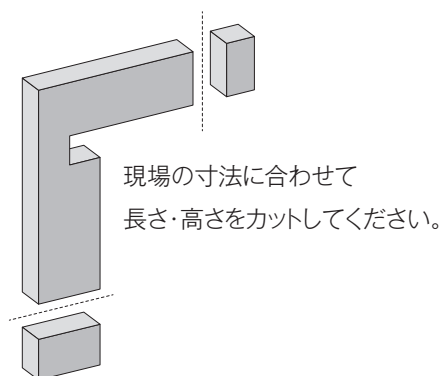
踏板固定用栈木（現場調達）を使用する場合



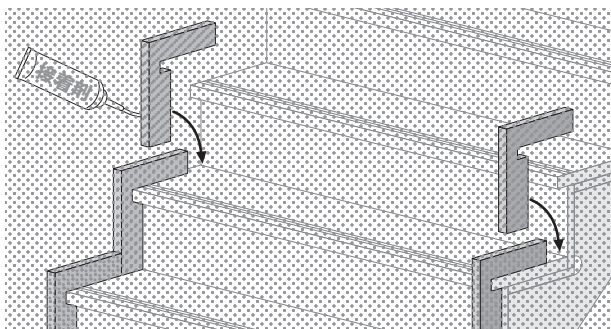
踏板固定金具（オプション）を使用する場合



プレカット巾木の取付



壁面にぴたりとつけ、接着剤で固定します。



※廻り踏板に取り付ける巾木は定尺サイズの巾木を現場加工願います。

※廻り部分にも使用できるプレカット巾木もございます。

施工終了後

養生の方法

- 施工後は木屑や砂・ゴミをきれいに取り除いて、ダンボール・ベニヤまたは養生カバー等で隙間なく養生してください。
- 市販のガムテープ等は粘着が強く、化粧単板および塗装のハガレの原因になりますので、別売の養生テープ（ZY0211）をご使用ください。
- 鼻の出裏面には養生テープを使用しないでください。

お手入れのしかた

- 階段が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を強く擦ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

使用説明書の手渡し

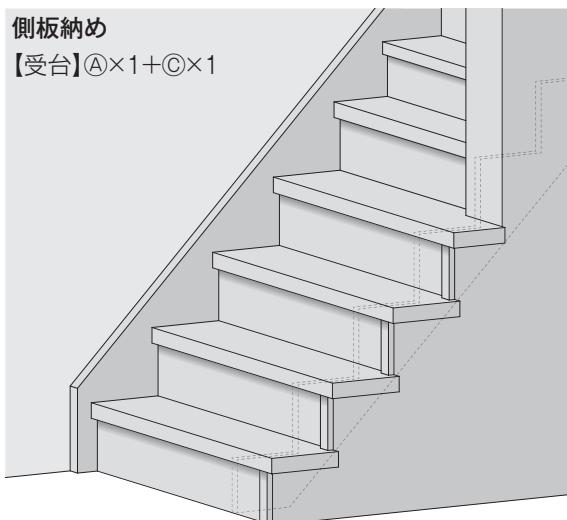
同梱の「使用説明書」を使用される方にお渡しください。使用される方が不在の場合は、施主様に依頼するか製品に貼り付ける等により必ず使用される方に届けられるようご配慮願います。

Ⅱ. ひな段階段プレカット

完成イメージ

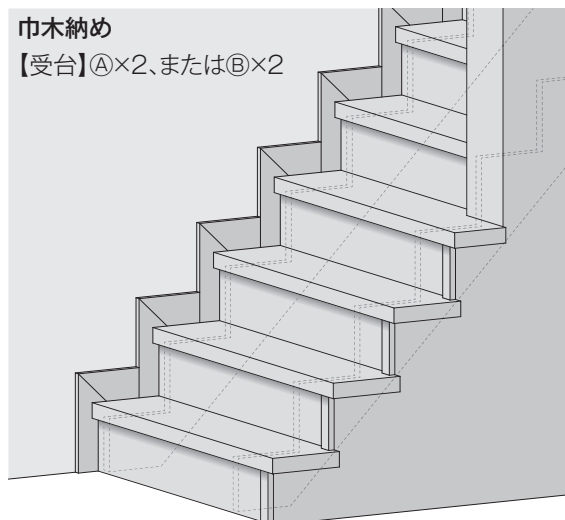
側板納め

【受台】 $A \times 1 + C \times 1$



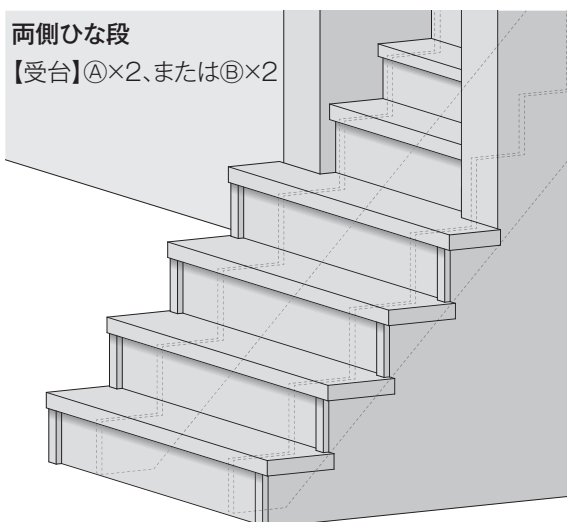
巾木納め

【受台】 $A \times 2$ 、または $B \times 2$



両側ひな段

【受台】 $A \times 2$ 、または $B \times 2$



側板納め

(+階段笠木(ボーダー)納め)

【受台】 $A \times 1 + C \times 1$

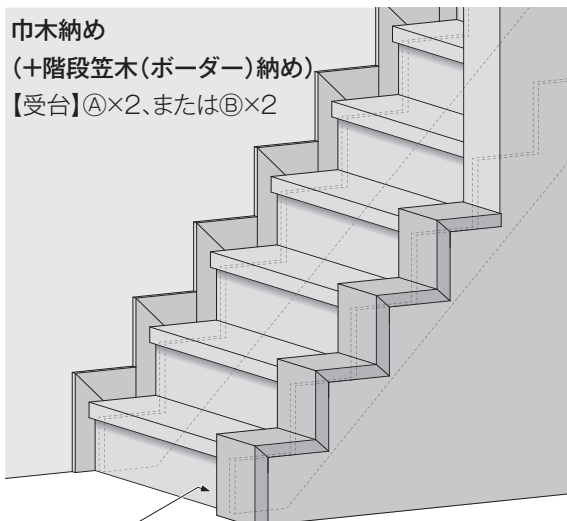


※現地調達部材により、蹴込板と階段笠木(ボーダー)のすき間をふさいでください。

巾木納め

(+階段笠木(ボーダー)納め)

【受台】 $A \times 2$ 、または $B \times 2$

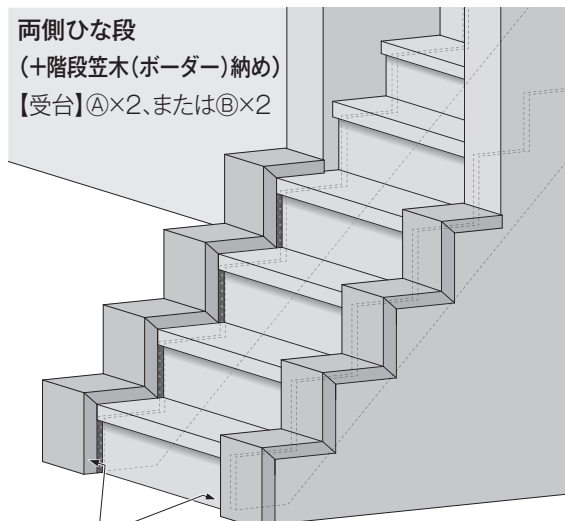


※現地調達部材により、蹴込板と階段笠木(ボーダー)のすき間をふさいでください。

両側ひな段

(+階段笠木(ボーダー)納め)

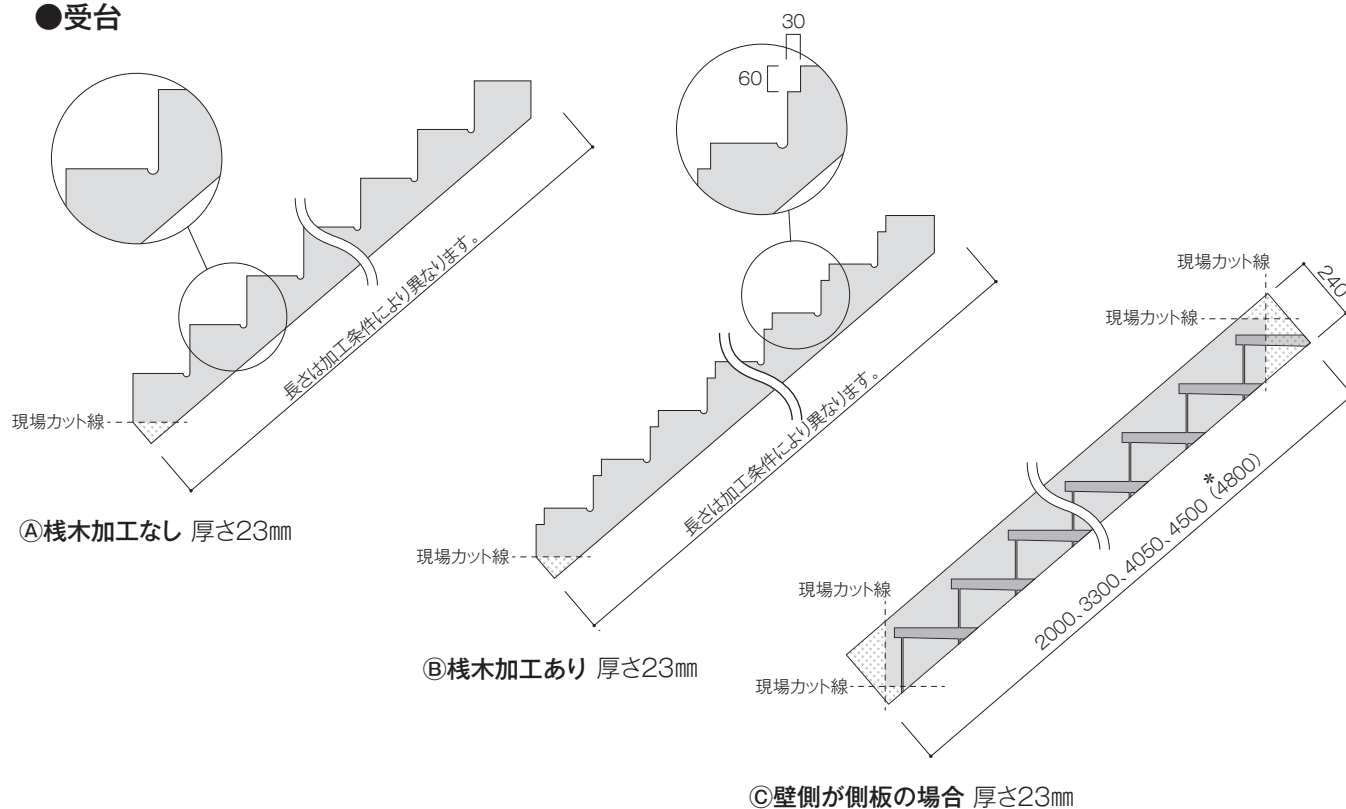
【受台】 $A \times 2$ 、または $B \times 2$



※現地調達部材により、蹴込板と階段笠木(ボーダー)のすき間をふさいでください。

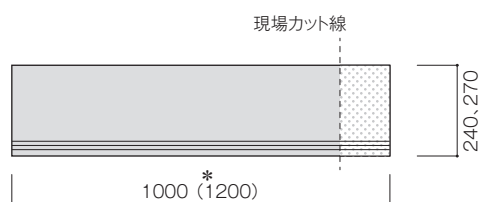
部材図

●受台



●踏板

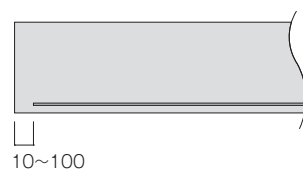
6面化粧 厚さ36mm



※プレカットの内容によりサイズが異なる場合がございます。

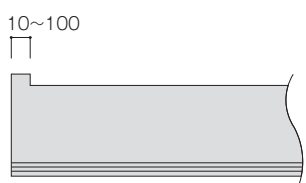
オプション加工

踏板裏面蹴込溝
突き止め加工 片側、両側



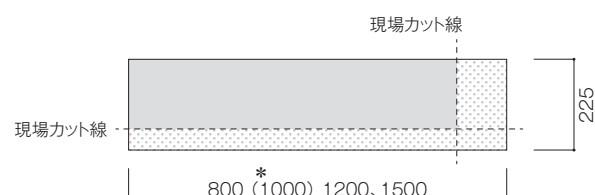
オプション加工

踏板L型カット 片側、両側

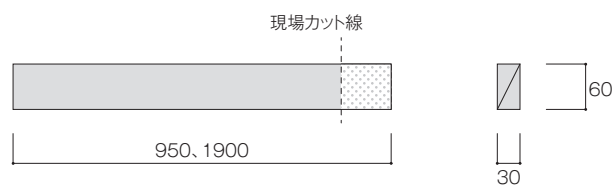


●蹴込板

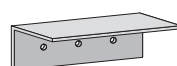
1面化粧 厚さ5.5mm、12mm



●桟木『受台③桟木加工あり』の場合に使用



踏板固定金具(オプション)

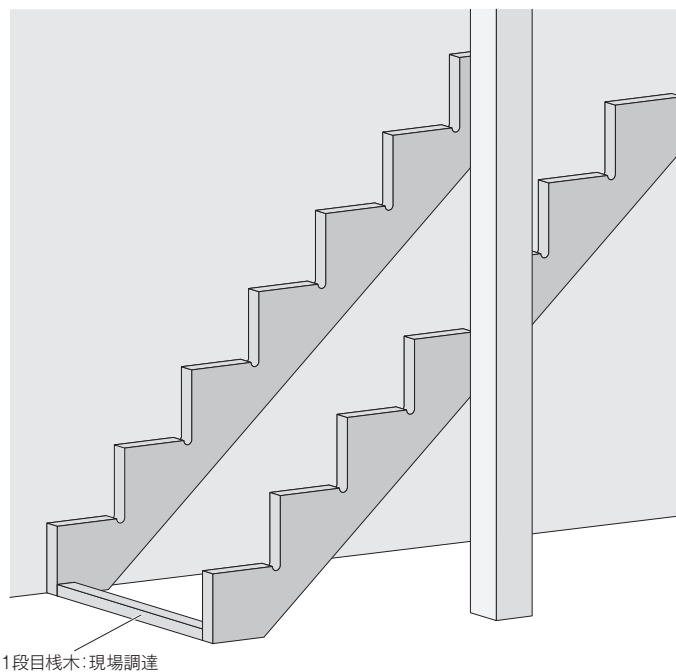
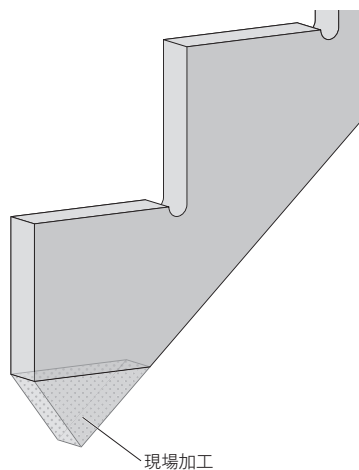


*()内の表示サイズは、シリーズにより該当しない場合がございます。

手 順

1

受台の取付・1段目蹴込板の受栈木の取付

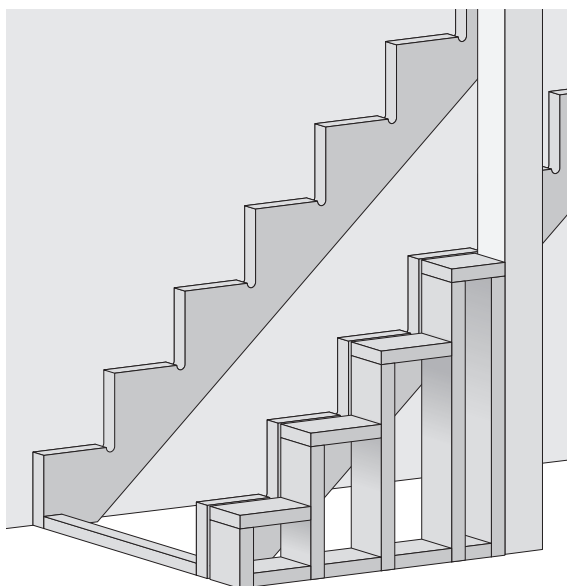


手 順

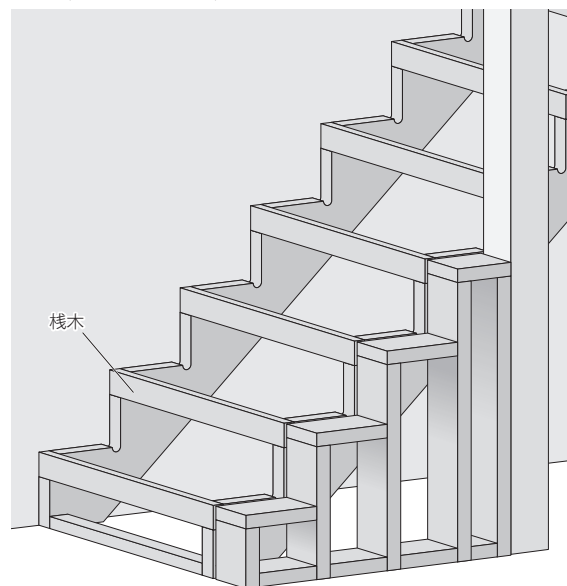
2

ひな段部分の下地の組み付け（施工例）

- ・受け台・間柱のサイズに合わせて
ひな段部分の下地を組みます（材料は現場調達:間柱・2×4等）。

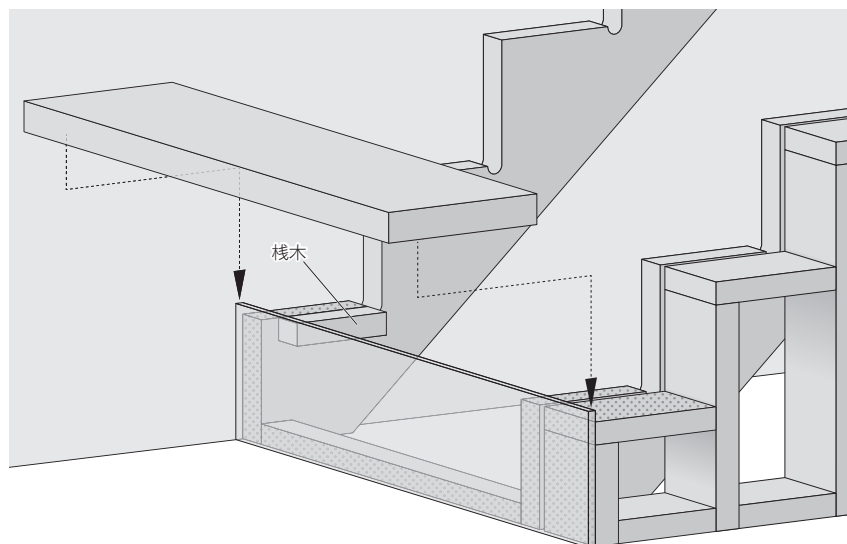


受台(栈木加工あり)の場合



蹴込板・踏板の取付

- ・蹴込板→踏板的順で取り付けていきます。
- ・踏板・蹴込板の接合部（網点部分）には必ず接着剤を塗布してください。
- ※踏板的蹴込溝突き止め加工はオプション加工となっており、オプション加工をされない場合は現場加工となります。

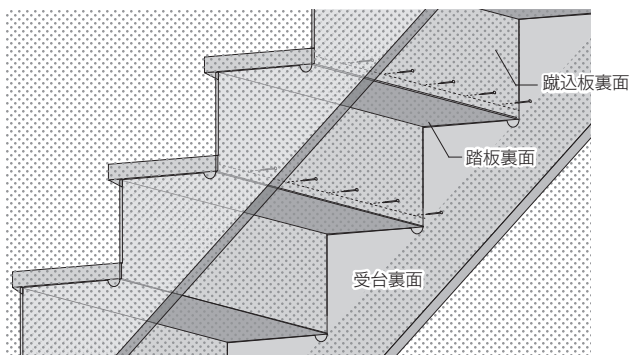


蹴込板の固定

- ・必ず階段の裏面よりビス等とウレタン系接着剤（推奨品:ポリウレタン系接着剤（別売））を併用し蹴込板を固定してください。（ビスのピッチは100mm以下としてください。）

Point!

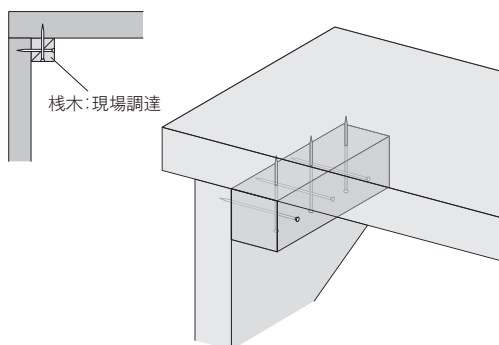
音鳴り等の防止の為、蹴込板の裏面をタル木・ベニア（9.5mm厚以上）等にて補強してください。



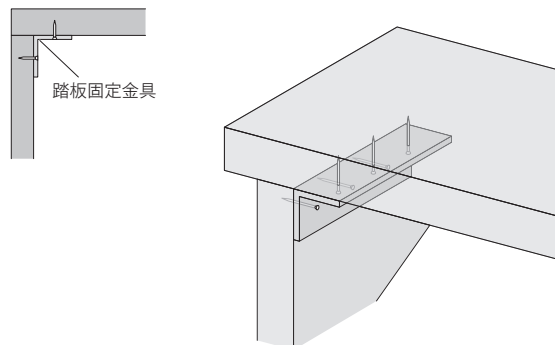
踏板的固定

- ・階段の裏側から踏板固定用栈木（現場調達）、もしくは踏板固定金具（オプション）をビスとウレタン系接着剤を併用して固定してください。

踏板固定用栈木（現場調達）を使用する場合



踏板固定金具（オプション）を使用する場合

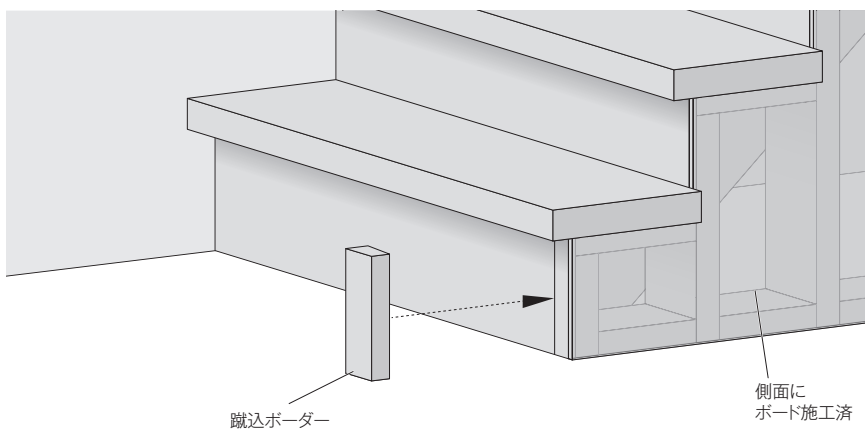


手 順

4

蹴込ボードの取付

・蹴込ボード（3面化粧）を取り付けてください。

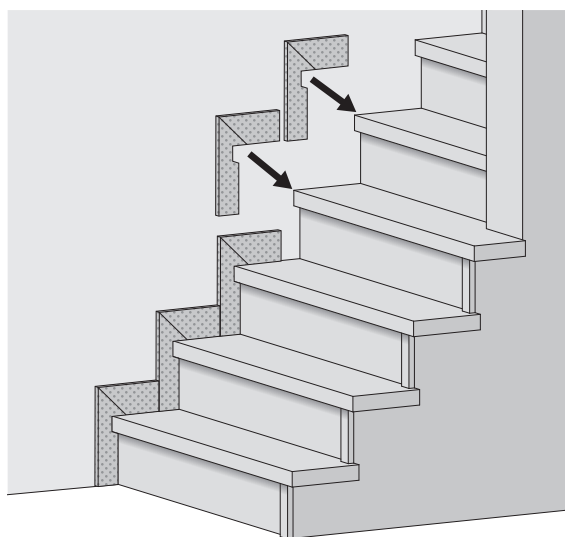


手 順

5

巾木の取付

・壁側に巾木を取り付けて施工完了です。



施工終了後

養生の方法

- 施工後は木屑や砂・ゴミをきれいに取り除いて、ダンボール・ベニヤまたは養生カバー等で隙間なく養生してください。
- 市販のガムテープ等は粘着が強く、化粧単板および塗装のハガレの原因になりますので、別売の養生テープ（ZY0211）をご使用ください。
- 鼻の出裏面には養生テープを使用しないでください。

お手入れのしかた

- 階段が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を強く擦ってふき取り、乾いた布で仕上げててください。
- ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

使用説明書の手渡し

同梱の「使用説明書」を使用される方にお渡しください。使用される方が不在の場合は、施主様に依頼するか製品に貼り付ける等により必ず使用される方に届けられるようご配慮願います。

WOODONE